

山川庫前会長、高橋靖水戸市長から感謝状を贈呈される



永年にわたり、地域福祉の推進と向上に貢献された功績に対し、高橋靖水戸市長から感謝状が贈呈された。贈呈式は7月6日(日)、市長が山川庫前会長のご自宅を訪れ行われた。(写真は高橋市長とお喜びのご家族の皆さん)

山川庫前会長退任あいさつ

50年にわたる強い絆の継承を切望しています

(平成26年度定期総会に寄せられたメッセージ)

平成26年度水戸市高齢者クラブ連合会定期総会を無事終えられましたことを、関係者各位に厚く感謝申し上げます。

私は、平成25年度を最後に、市高連会長を退かせていただくこととなりました。

顧みれば、私が会長を拝命してからこの11年間、自らの力不足のところ、支えとなって大きな力を発揮していただいた役員の皆様、単位クラブ会長をはじめ会員の皆様、そして事務局の方々の温かい心遣いがあればこそ、ここまで続けていくことができた、あらためて感謝の心でいっぱいでございます。

特に平成25年度は、市高連創立50周年という節目にあたり、会員の皆様は勿論、広く市民の皆様の力をお借りしての記念誌編集という、3年がかりの大事業を見事に成し遂げることができました。そして、県内はもとより、他県からも大きな評価を受けることができました。編集にあたられた方々に深く感謝の意を表したいと思えます。

私たちは、この編集事業を通し、人間の支え合うことの大切さ、人を活かすことによって自分が活かされ、一個人の力では成し得ない事も、皆の力を合わせれば成ることを学びました。また、人の和、絆の大切さを目の当たりにさせてくれました。この絆を更に強く結び合い、クラブの発展、そして市内各地域の発展に活かしていきたいと誓うことができました。

新体制での水戸市高齢者クラブ連合会の出発にあたり、前半世紀に築き上げた50年にわたる強い絆が、後半世紀へ連綿と継続されることを切望しております。

そして、新会長を中心に、役員の方々の更なる結束力をもって組織の活性化が図られるとともに、高齢者がお互いに支え合い、地域の方々にしっかりと見守られ、不安や心配を持った方が少しでも少なくなるよう、行政と共に地域ぐるみの支え合う絆の結びつきを願っております。会員の皆様のご健康と高齢者クラブの一層の発展を祈念しまして、退任のご挨拶とさせていただきます。